

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3年 2月 28日

公表:令和 3年 3月

事業所名 ジーニアス・スタディ瑞穂校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	個々の特性や興味を把握し環境設定に配慮や工夫をしている	スペースが幸いにして広く学習 活動 相談のための部屋がある為に独立した活動が可能である。しかし広すぎるために弊害も出かねない事を常に考えてスタッフの連携を密にしていきたい
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3	個別対応が必要な利用者に対応する職員	職員配置については規定ではあるが強度行動障害を伴う強い他害ある児童だけでなく それぞれの特性に応じ 限られた中で職員配置を工夫し 連携して支援したいが試行錯誤中である
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	目的に応じコーナーや部屋で示している	バリアフリーに関しては常に利用者側に立ち活動しやすい環境を職員間で共有し 利用者の情報を把握し必要に応じて研修の機会を積極的に持ち 利用者のニーズに応えられる様にする。生活空間は季節感なども取り入れて 心地よい清潔な空間を職員一体となり意識して行う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	広いスペースや決められた場所をフルに活用している	心地よい空間や環境をつねに意識しているが これからも続けていきたい
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	参画できる体制を整えるよう努力している	直接的な行動ができなくても連絡網などで必ず職員同士連携を取り合い連絡がつく状態にしておくことを基本にする
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	保護者の評価に対しては真摯に受け止めて即会議を持っている	保護者の意向に沿いながらも利用者のニーズとの食い違いが無い見極めてどちらのニーズに応えることが出来るように 事業者側の考えを明確にし 発展的な方向で改善につなげる様にしてい
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	定期的に情報公開を行い明確化している	ホームページ インスタグラム 会報での内容情報公開は自信が持てる今後より良い方向目指して進めていく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0		外部評価結果を受け止めより良い対応をしていく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2	個人的に研修の機会と希望を積極的に出す	個人的に研修しようという積極性を持ち臨み資質向上していく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	アセスメントだけでなく面談重視している	利用者のニーズに応え 親のニーズを理解しより良い丁寧な支援をこ心がけるためアセスメントだけに頼らず面談で親や子どもにより添う視点でかつ出来るだけ客観的な分析で作成していくように努力している
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0		標準化のツールを参考にその子のリスクで判断の参考に
	12	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインに沿って、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	職員間でガイドライン研修を行っている	時間が取れないことは事実であるができるだけでも短時間でも研修を継続する必要がある 基本的に大切である内容を積極的に学ぶ姿勢が非常に弱い 項目ごとに大きめに先ずはわかりやすくまとめて提案し投げかけていく様に理解を深め支援の質の向上を図る
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	行っている	個々に対応した支援を基本に計画作成し発達に適正であるようにと確かめをしながら支援をしていく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	行っている	職員全体で検討をこれからもしていく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	工夫している	固定化はよくないがある程度の継続は必要で経過により検討することが必要
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	作成している	しっかり組み合わせで計画作成している 必然的にそうなる
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	確認している	支援内容は詳細に役割分担についても確認することはできない仕事であることは職員すべて認識している子どもの個々についても必ず意思統一している これからも続けていく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	実施している	必ず行っている 当日連絡事項はその日のうちにを基本とする
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2	行っている 改善しようとして努力している	インスタグラムで公開し親との連絡帳で支援内容を知らせ職員間での検証材料としていきたい
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	定期的な見直しモニタリング時間を設定	事業所全体として捉え 取り組み計画等見直しを必要とする

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	事業所からのモニタリングで必ず参画	直接参画はしていないが今後参画できるようにしていきたい
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	2	親を通して内容把握している	今後 個人情報の関係もあるため慎重に また保護者の承諾の必要ある場合も考えて連携支援を行いたい
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	直接的には困難 親から聞き把握	保護者からの情報を定期的に聞き取り体調管理を行い 必要に応じて 関係機関との連携を基幹センターや相談員を介してさらに情報提供してもらい 支援をしていく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	0	同上	同上
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	情報提供の必要性ある場合話し合う	児童発達サービスからの情報提供や共有はしている 今後保育園など就学前との連携を今より多く持てるようにしたい
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	しょくいん	移行に伴い情報提供するのとは常識的であると判断している
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	定期的に事業所自ら赴いている	積極的に研修に職員すべてを受けて専門性を充実させる
	28	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	5		一番実現したい内容で今後実現できるように計画を作成したい
	29	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2		作品展では地域の方も参加があった今後も続けていきたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	会える機会にまたは電話メールでコンタクトをしっかりとっている	話し合いを密にし発達や課題を親 子どもの課題を常に検討
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	4	相談支援で家族支援を必ず実施している	専門性を持つスタッフが支援できるスタッフを研修で増やす 相談時 家族の悩みや精神的負担等々を聞き入れながら 気持ちに寄り添い 親が利用者に対し 期待や希望を持ち関わられる様 保護者の対応力向上を図るようにしていく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	契約時納得していただく	改訂があった場合迅速対応で保護者に知らせ対応している
	33	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5	0	放課後デイサービスの基本理解を得る	ガイドラインの提供すべき支援説明及と重要事項説明で実施
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	相談希望 と面談要請はいつでも実施	定期的及びその都度必要に応じ相談支援を行い子どもの状況を適切に分析するように努力し 保護者から家庭状況や学校生活情報を聞き出し適切な助言ができる様にと研鑽している
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4		保護者同士のつながりほかなりあるとみている 親の会や学校保護者会など 新事業所として親の会の集まりを計画していたがコロナの状況で出来ず 子どもの一年間の絵の作品展で密を避けて開催し親の交流になったが こういう連携支援は続けたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	職員間で共有し迅速対応をしている	ケースによってはショートステイを紹介したり言語訓練など関係機関や事業所への窓口的な役割もしている 事業所としては連携をとりつつ 保護者にも経過を報告してもらい より広い支援を構築していきたい
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0		詳細に報告している 更に進め 感想 意見も集約する
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0		職員間で共有し 注意を払って対応する
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	職員間の共通理解で配慮している	家庭と事業所の連携を密にしている 子どもの小さな発達も見逃さず必ずどの子についても伝える スタッフが気持ちを読み取り寄り添える支援の向上が必要になるため努力をしていきたい
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4		行事的には現状できないが地域の方とは関係性を作っている

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	地域防災ボランティアの方から学んだ	訓練は実施しているが内容充実を図り研修をしていきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	子どもにとって理解出来る方法で	防災学習と訓練で子どもの身近な事になるよう地域を回り防災マップ作りをする予定
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0		アレルギー てんかん 持病は確認 対応マニュアルに沿う
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0		指示書は保護者からの伝達で注意を払い全体共有で対処する
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0		充分とは言えないが該当内容は会議し報告書作成反省と見直し
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		マニュアルの研修と職員複数の目で観 厳しく防止に心がける
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	0		やむを得ない場合を具体的に明示して あくまでも利用者に負担がかかることがないように 安全確保のため 支援者の都合ではないことを明確にして説明した上で個別計画に記載し承諾を得ている

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。